

2025年度 第1回 学校関係者評価委員会 議事録

【開催概要】

場所:YIC ビューティモード専門学校 YIC Studio 講堂

日時:2025年10月23日(木)14:00~15:00

目的: 2025年度(令和7年度)の取り組みの中間報告と、前期活動を踏まえた

職業実践過程の認定基準を中心とした点検および課題の報告、委員との
意見交換

【出席者】

学校関係者評価委員(5名)

保護者代表 安達 祐樹 様 美容学科1年在校生保護者

企業関係者 山村 朋之 様 株式会社ライブス 代表取締役社長

企業関係者 糸賀 義将 様 有限会社ビューティサロン・ニュースタイル代表取締役社長

職能団体 佐竹 章宏 様 山口県美容業生活衛生同業組合 理事長

高校関係者 繩田 典行 様 学校法人山口高川学園高川学園高等学校進路部部長

本校教職員(5名)

校長 河津 道正

副校長 小田 政江

事務長 日當 泰浩

教務課長 千村 希人

教務課長 大宮 友美子

美容学科学科長 金次 郁織

欠席者 学校関係者評価委員 ／ 卒業生代表 柴田 こず恵 様 美容学科第1期卒業生

1. 議長選出 山村朋之様に依頼

2. 校長挨拶

- 学校関係者評価委員会は昨年度までは年1回開催だったが、今年度より年2回開催となった。
- 年2回開催は文部科学省の指摘や、学校のバランスをとること、および学校に課せられる教育センターからの改訂に合わせて実施される。
- 第1回目(今回)は本年度前期分の取り組みについて報告し、意見を求める。
- 第2回目(年度末)は1年間の取り組みについて報告し、翌年度の取り組み発表を行う。
- 校長は2025年4月から就任した。

3. 議題 (1)2025年度(令和7年度)取り組みの中間報告

●議題1: 全活動実績の中間報告

- 前期授業時間数
 - 1年生:596時間(計画通り)
 - 2年生:584時間(計画通り)
 - 特記事項:悪天候による休校措置等はなかった。
- 企業連携授業
 - カットクリエイティブ演習、トータルビューティ演習の各項目で104時間実施。
 - 年間120時間に対し、残り16時間は後期に実施予定。
- 実務家教員担当授業
 - 全体時間の14.9%を実施。
 - 内訳:カットクリエイティブ演習、トータルビューティ演習、総合演習。
- インターンシップや外部実習など
 - 2026年2月17日から実施予定。
 - 予定時間:60時間を継続。
 - 特記事項:県内協力先を当たっている。

●議題2: 学生の状況

- 在籍者数
 - 実績:108名(うち休学生4名)
 - 昨年度(2024年度):95名
 - 課題:想定定員割れ

- 前期の平均成績
 - 実績:現在集計中
 - 昨年度:1年生 GPA 2.66、2年生 GPA 3.0
 - 一般大学の平均 GPA は 2.2 から 2.8 で動いている。
- 前期の平均出席率
 - 実績:1年生 1組 94.7%、1年生 2組 96.6%、2年生 90.5%。
 - 昨年度:1年生 90.5%、2年生 92.8%。
 - 課題:出席率が悪い一部の学生が、平均を下げている。
 - 対応:出席率の低い学生には、対面での指導や、修学支援制度の受給資格にも関わるため、対応している。
- 前期卒業見込み者の就職内定率
 - 実績:81.2%(48名中 39名が内定)
 - 昨年度最終結果:100%(44名中 44名が就職)

●議題 3: 教職員に関する活動の報告

- 教員研修
 - YIC 研修を 1 回受講済み(参加教員 4 名、2 回目は冬季に 5 名予定)。
 - 日本美容教育センター主催の即戦力研修は全 5 回中 2 回参加(残り 3 回は年度後期に実施予定)。
 - ヘアケアマイスター認定教員研修は受講済み。
- 企業等への教員派遣
 - 実施実績なし。
- 専門家教員登用状況
 - 非常勤講師 8 名:カットクリエイティブ演習、トータルビューティ演習の前期授業を担当。
 - 非常勤講師 5 名:総合演習を担当。

●議題 4: 職業実践に関する中間自己点検(前期の検証)

- 前期達成状況としては、教育課程指導を計画通り達成している。
- 今後も連携体制を維持していく。
- 今年度年間計画作成時に非常勤講師への事業依頼と要望について打ち合わせを実施済。
- 次年度にむけて施設の一部改修が必要(今年度末までに 5 階と 6 階の設備改修を実施予定)

●議題 5：学校関係者評価委員との意見交換(特に専門的な意見を必要とする事項)

- 高校卒業資格と美容師免許取得の W スクールが進む現状について
 - 山村様: W スクール生は学力があり、素材は良いが専門性は劣る可能性。専門学校はより専門性を高める「スーパー美容師」養成にシフトし、特別コースの設置などを検討すべき。
 - 縄田様: W スクールはやる気のある生徒でないと免許取得は困難。就職の求人数は異常に増えているが、美容関係への希望者は少ない現状がある。
 - 糸賀様: 高校で美容師免許を取りたい人は増えているが、就職数は減っている。高校生は企業オーナーが若いところを選ぶ傾向がある。
 - 佐竹様: W スクールを選ぶ生徒は美容室経営者の娘さんが多いイメージで、美容室への就職率は高くないだろう(5割いけば良い方)。専門学校の 2 年間は本気度が高い生徒が多く、差別化はできていると考える。
- 少子化に対する今後の美容専門学校の生き残りや差別化について
 - 山村様: W スクール生が増えることで一般の学科の応募も増えている。免許取得後の 1 年コース(専攻科)のような、より専門性を高めるコースの検討。
 - 再意見交換: 免許取得後のコースは養成施設の枠を超えるため、別の収益事業(スクール)となる。トータルビューティ分野(アイラッシュ、ネイル、眉など)を充実させることで差別化を図る可能性。

4. 連絡事項

- 第 2 回委員会は 2026 年 3 月 26 日(木)14:00 に実施予定。

5. 閉会 貴重な意見を参考に、今後の学校運営に活かしていく。以上をもって全て終了。